

廃棄物処理等科学研究費補助金（競争的資金）

1,780百万円（1,150百万円）

廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

1 事業の概要

循環型社会形成の推進及び廃棄物に係る諸問題の解決に資する研究及び次世代型の廃棄物処理技術の開発に関する課題を公募・採択し、これらの研究・開発を推進することにより、廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会形成の推進等に関する行政施策の推進及び技術水準の向上を図る。

事業の概要と対象とする分野については、次のとおり。

項目	研究事業	技術開発事業
事業名	廃棄物処理対策研究	次世代廃棄物処理技術基盤整備
対象	<p>【重点テーマ研究】 社会的・政策的必要性を踏まえテーマを設定し、テーマに即した課題を効率的・効果的に推進</p> <p>【若手育成型研究】 若手研究者の独立性を確保し、より流動的な環境の中で研究を進められるよう、若手研究者を育成</p> <p>【一般テーマ研究】 重点テーマ、若手研究者に限らず、廃棄物の適正処理、循環型社会構築に向けた課題を広く選定</p>	<p>循環型社会の推進及び廃棄物の適正処理に関するもので、本事業により実用化が見込まれ、かつ汎用性及び経済効率性に優れ、既に基礎研究、応用研究を終えた段階の技術開発を対象</p> <p>開発技術の普及に努めること</p>
評価の基準	<p>学術的必要性 社会的必要性 研究の独創性 計画の妥当性 実施能力</p>	<p>技術開発の独創性 社会的必要性 経済性 実施計画の妥当性・実現可能性</p>

2 事業計画

毎年度、公募により研究テーマ、開発技術を募り、学識者である委員により評価を行う。評価の高い課題を選定し補助対象とする。

3 施策の効果

廃棄物を適正に再生及び処分するための処理技術の研究や技術開発等の成果をゴミゼロ型・循環型社会形成の一層の推進に活用できる。

社会的必要性の高い研究・開発課題の実用化を図ることにより、産業の発展とそれに伴う雇用創出が見込まれる。

廃棄物処理等科学研究費補助金による研究・技術開発

廃棄物処理対策研究

< 研究の対象 >

- 「重点テーマ研究」
循環型社会形成推進のための社会システムの分析・評価研究
生産・消費段階における廃棄物発生抑制・資源循環システム化技術研究
安全、安心のための廃棄物管理技術に関する研究
- 「一般テーマ研究」
廃棄物処理に伴う有害化学物質対策研究
廃棄物適正処理研究
循環型社会構築技術研究
- 「若手育成型研究」
一般テーマ研究と同様の内容について、若手研究者を対象とするもの

対象者：個人(研究機関に属する研究者)
事業期間：3年以内
交付額：年度ごとに1億円以内、
対象額の100%以内
H16状況：応募142件 採択51件

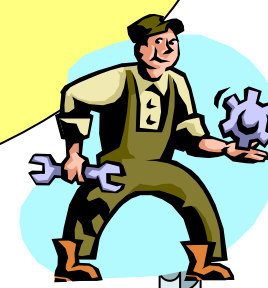
H16予算額：
あわせて1,150百万円

次世代廃棄物処理技術開発

< 技術開発の対象 >

- 「廃棄物適正処理技術」
廃棄物処理施設関連技術
最終処分場関連技術
廃棄物不適正処理監視・修復技術等
- 「廃棄物リサイクル技術」
生ごみ等有機性廃棄物、容器包装廃棄物、廃家電、廃自動車、建設系廃棄物等のリサイクル技術
- 「循環型設計・生産技術」
リデュース・リユース・リサイクルに係る循環利用設計・建設・生産技術

対象者：法人
事業期間：1年
交付額：1億円以内、
対象額の50%以内
H16状況：応募24件 採択12件



ゴミゼロ・資源循環型技術研究イニシアティブの推進
環境行政の施策支援 技術水準の向上